



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4506 URL <http://www.ds-pharma.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 樋口 敦子

TEL 06-6203-1407

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	94,798	△6.9	12,787	△13.5	13,154	△11.3	8,086	△12.8
23年3月期第1四半期	101,799	54.1	14,790	31.6	14,838	25.4	9,277	18.7

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 11,819百万円 (29.4%) 23年3月期第1四半期 9,134百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	20.35	—
23年3月期第1四半期	23.35	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	581,742	332,226	57.1
23年3月期	589,868	323,983	54.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 332,226百万円 23年3月期 323,983百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	179,700	△4.7	8,900	△40.4	8,400	△41.6	4,800	△44.5	12.08
通期	362,000	△4.6	17,000	△45.1	15,500	△45.8	8,500	△49.4	21.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は【添付資料】P.4「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	397,900,154 株	23年3月期	397,900,154 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	587,522 株	23年3月期	587,168 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	397,312,780 株	23年3月期1Q	397,315,315 株
----------	---------------	----------	---------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※当社は、機関投資家・アナリスト向けに、第1四半期決算カンファレンスコールを、7月29日に開催する予定です。このカンファレンスコールで配布した資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

医薬品業界におきましては、画期的新薬の創出が困難になっていることに加え、各国で医療制度改革に向けた動きが見られる中、医療費削減を主眼とする諸施策が引き続き実施されており、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、「国内収益構造の変革」、「海外事業の拡大と収益最大化」、「将来の成長のためのパイプラインの強化」を本年度の最重点課題として掲げ、事業活動を展開しております。

当第1四半期連結会計期間の売上高は、947億98百万円（前年同四半期比6.9%減）、営業利益は127億87百万円（前年同四半期比13.5%減）、経常利益は131億54百万円（前年同四半期比11.3%減）、四半期純利益は80億86百万円（前年同四半期比12.8%減）となりました。

当連結会計年度から、マーケット毎の医薬品事業の業績管理を一層強化することを目的に、報告セグメントの区分見直しを行っております。セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①日本

当社の国内医薬品事業を中心とする業績であります。高血圧症治療剤「アバプロ」、非定型抗精神病薬「ロナセン」、末梢循環改善剤「プロレナール」の戦略品や、パーキンソン病治療剤「トレリーフ」、肝細胞がん治療剤「ミリプラ」、ビッグアナイド系経口血糖降下剤「メトグルコ」、速効型インスリン分泌促進剤「シュアポスト」の新製品に営業資源を集中し、売上高の増加に注力するとともに、ローコスト経営の徹底等、継続的な経営効率の追求による利益の拡大に積極的に取り組みました。しかしながら、高血圧症・狭心症治療薬「アムロジン」の減収等により、売上高は445億55百万円（前年同四半期比4.1%減）、セグメント利益は180億84百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

#### ②北米

サノビオン・ファーマシューティカルズ・インクを中心とする米国子会社および当社の北米事業の業績であります。当社のグローバル戦略品である非定型抗精神病薬「ラツダ」の早期の市場浸透・販売拡大に注力するとともに、催眠鎮静剤「ルネスタ」、短時間作用型β作動薬「ゾペネックス」等の既存品にも積極的なプロモーション活動を行いました。売上高につきましては、現地通貨ベースでは増加したものの円高の影響を受けたことにより315億14百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。また、セグメント利益は「ラツダ」関連の費用が増加したことにより、37億1百万円（前年同四半期比38.5%減）となりました。

#### ③中国

住友製薬（蘇州）有限公司および当社の中国事業の業績であります。カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」（現地販売名「美平」）の販売が順調に推移したこと等により、売上高は18億80百万円（前年同四半期比24.7%増）、セグメント利益は8億23百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

#### ④海外その他

当社から北米および中国以外への輸出等の取引高で、売上高は64億8百万円（前年同四半期比6.9%増）、セグメント利益は28億46百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

上記報告セグメントの他に当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は104億40百万円（前年同四半期比30.2%減）、セグメント利益は9億62百万円（前年同四半期比15.3%増）となりました。

**(2) 連結財政状態に関する定性的情報**

資産については、有価証券や特許権が減少したこと等により、総資産は前連結会計年度末に比べ81億25百万円減少し、5,817億42百万円となりました。

負債については、有利子負債が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ163億68百万円減少し、2,495億16百万円となりました。

純資産については、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加が配当金の支払による減少を上回ったこと等により、前連結会計年度末に比べ82億43百万円増加し、3,322億26百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は57.1%となりました。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**

現時点では、業績に変動を与える要因は特に想定されませんので、平成23年5月11日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,938	16,468
受取手形及び売掛金	107,803	105,855
有価証券	90,921	86,348
商品及び製品	38,442	37,927
仕掛品	2,388	2,597
原材料及び貯蔵品	15,140	14,002
繰延税金資産	33,489	32,868
短期貸付金	25,000	25,000
その他	4,998	7,996
貸倒引当金	△122	△111
流動資産合計	332,999	328,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	91,227	91,840
減価償却累計額及び減損損失累計額	△49,497	△49,790
建物及び構築物(純額)	41,730	42,050
機械装置及び運搬具	77,089	76,728
減価償却累計額及び減損損失累計額	△65,030	△65,240
機械装置及び運搬具(純額)	12,058	11,488
土地	10,291	10,286
建設仮勘定	941	997
その他	27,529	27,738
減価償却累計額及び減損損失累計額	△22,758	△22,902
その他(純額)	4,771	4,836
有形固定資産合計	69,793	69,659
無形固定資産		
のれん	70,369	70,822
特許権	60,984	55,988
その他	11,912	11,960
無形固定資産合計	143,266	138,770
投資その他の資産		
投資有価証券	27,922	27,377
繰延税金資産	7,023	7,898
その他	8,961	9,185
貸倒引当金	△99	△102
投資その他の資産合計	43,807	44,359
固定資産合計	256,868	252,788
資産合計	589,868	581,742

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,647	16,362
短期借入金	50,000	43,000
1年内返済予定の長期借入金	10,600	10,000
未払法人税等	7,678	4,930
賞与引当金	7,431	3,832
返品調整引当金	2,289	2,695
売上割戻引当金	15,875	18,892
その他	47,681	43,530
流動負債合計	157,203	143,242
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	43,000	40,500
退職給付引当金	10,266	10,413
役員退職慰労引当金	6	—
その他	5,407	5,359
固定負債合計	108,680	106,273
負債合計	265,884	249,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	304,186	308,696
自己株式	△648	△648
株主資本合計	341,798	346,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,413	5,049
為替換算調整勘定	△23,228	△19,131
その他の包括利益累計額合計	△17,814	△14,081
純資産合計	323,983	332,226
負債純資産合計	589,868	581,742

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	101,799	94,798
売上原価	32,632	25,784
売上総利益	69,167	69,013
返品調整引当金戻入額	13	—
返品調整引当金繰入額	—	4
差引売上総利益	69,180	69,008
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	4	—
給料	8,572	9,048
賞与引当金繰入額	2,385	2,594
研究開発費	14,500	13,636
その他	28,927	30,942
販売費及び一般管理費合計	54,390	56,221
営業利益	14,790	12,787
営業外収益		
受取利息	110	110
受取配当金	459	364
その他	531	492
営業外収益合計	1,101	968
営業外費用		
支払利息	451	308
寄付金	273	176
その他	329	115
営業外費用合計	1,053	600
経常利益	14,838	13,154
税金等調整前四半期純利益	14,838	13,154
法人税等	5,560	5,068
少数株主損益調整前四半期純利益	9,277	8,086
四半期純利益	9,277	8,086

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,277	8,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,184	△364
繰延ヘッジ損益	△32	—
為替換算調整勘定	1,074	4,097
その他の包括利益合計	△143	3,732
四半期包括利益	9,134	11,819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,134	11,819
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本(医薬)	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	52,596	32,889	1,349	86,834	14,964	101,799
セグメント間の内部 売上高又は振替高	814	1,089	128	2,032	—	2,032
計	53,411	33,978	1,477	88,867	14,964	103,832
セグメント利益	12,367	1,249	559	14,176	650	14,827

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物用医薬品、飼料・飼料添加物、食品添加物、診断用薬等の事業を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,176
「その他」の区分の利益	650
セグメント間取引消去	△37
四半期連結損益計算書の営業利益	14,790

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	44,555	31,514	1,880	6,408	84,358	10,440	94,798
セグメント間の内部 売上高又は振替高	90	—	—	—	90	23	114
計	44,646	31,514	1,880	6,408	84,448	10,463	94,912
セグメント利益	18,084	3,701	823	2,846	25,454	962	26,416

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	25,454
「その他」の区分の利益	962
研究開発費(注)	△13,636
セグメント間取引消去	6
四半期連結損益計算書の営業利益	12,787

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。

## 3 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、日本、北米、中国等マーケット毎の医薬品事業の業績管理を強化する目的でグループ内の損益管理区分を変更したことに伴い、報告セグメントの区分方法を従来の日本(医薬)、米国、中国の3区分から、日本、北米、中国、海外その他の4区分に変更しております。これにより、従来日本(医薬)セグメントに含めておりました当社の海外向け取引にかかる業績は、北米、中国、海外その他の各セグメントに含めております。

また、当第1四半期連結会計期間から、研究開発費をグローバルに管理しているため各セグメントに配分を行っていません。これにより、セグメント利益を従来の営業利益ベースから、研究開発費控除前の営業利益ベースへと変更しております。

前連結会計年度の対応する四半期連結結果計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	46,441	32,889	1,508	5,996	86,834	14,964	101,799
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	46,441	32,889	1,508	5,996	86,834	14,964	101,799
セグメント利益	18,794	6,019	783	2,859	28,456	834	29,290

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物用医薬品、飼料・飼料添加物、食品添加物、診断用薬等の事業を含んでおります。

また、報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	28,456
「その他」の区分の利益	834
研究開発費	△14,500
四半期連結損益計算書の営業利益	14,790

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。